

農業改良助長法

協同農業普及事業の運営に関する指針
(運営指針R02.8制定)

○普及指導活動の基本的な課題

- 1 担い手の育成・確保
- 2 スマート農業の実践等による生産・流通現場の技術革新・生産基盤の強化
- 3 気候変動への対応等環境対策の推進
- 4 食料の安定供給の確保
- 5 農村の振興
- 6 東日本大震災からの復旧・復興と大規模自然災害等への対応

協同農業普及事業の実施に関する方針
(県実施方針(R3～R7))

○普及指導活動の課題と取組

- 1 みやぎの農業を担う次代の人材育成と革新技術の活用等による生産基盤の強化
 - (1)先進的経営体や地域の核となる経営体の育成及び経営の安定化・高度化支援
 - (2)新たな担い手の確保・育成と多様な人材の活躍支援
 - (3)先端技術等の推進・普及による農業経営の効率化・省力化支援
 - (4)園芸産出額の増大に向けた園芸産地の育成・強化支援
 - (5)収益性の高い水田農業・畜産経営の展開支援
- 2 時代のニーズに対応した農畜産物の安定供給
 - (1)みやぎの食と農への理解促進と安全・安心な農畜産物生産の取組支援
 - (2)多様化する需要の変化に対応した生産・販路拡大への取組支援
- 3 多彩な「なりわい」の創出や多様な人材・機関との連携による持続可能な農業・農村の構築
 - (1)地域資源や地域の特色を活かした営農・所得確保に向けた取組支援
 - (2)関係機関等との連携強化と合意形成推進による地域農業の維持・発展支援
 - (3)環境に配慮した持続可能な農業生産の取組支援
 - (4)大規模自然災害等からの復旧・復興に向けた支援

令和6年度普及指導活動方針(年度方針)
年度方針に基づき重点的に取り組む、5つの課題

活動のテーマ

1 農地の効率的かつ総合的な利用に向けた「地域計画」策定支援【地域計画】

- ・市町村が策定する「地域計画」について、策定が円滑に進むよう取組を支援
- ・地域における農業の将来のあり方についての協議支援



2 園芸産出額増大と地域の特色ある園芸品目生産拡大に向けた産地育成の取組支援【園芸振興】

- ・高度な環境制御を導入した施設園芸の取組
- ・大規模露地園芸に取り組む経営体の栽培技術定着支援
- ・多様なニーズに対応した特色ある園芸品目の生産拡大



3 先端技術等の普及拡大と生産性の高い農業の実現に向けた取組支援【アグリテック】

- ・土地利用型農業の効率化・省力化に向けたアグリテックの導入や効果的活用支援(RTK基地局の活用)
- ・搾乳ロボットなどICT機器を用いた、効率的で生産性の高い農業の実現支援



4 環境に配慮した持続可能な農業・農村の構築支援と食と農への理解促進【みどりの食料システム戦略】

- ・環境負荷低減に資する持続可能な農業生産の取組支援
- ・食と農に関する理解促進の取組支援



5 資材価格高騰を背景とした耕畜連携による堆肥等の有効活用支援【耕畜連携】

- ・堆肥の有効活用や地域の未利用有機物の有効活用推進



年度計画

- 1 プロジェクト活動・・・33課題(新規16, 継続17)、活動期間(終期)を定め、対象者を特定して活動
〔地域計画※、園芸振興、アグリテック、みどり戦略、耕畜連携〕※は全普及センターで必ず取り組む
- 2 重点活動・・・・・・・42課題、活動期間は特に定めず、対象者はプロジェクト活動より広い
- 3 一般活動・・・・・・・活動内容や対象者が広範囲、普及センターの基礎的な活動

1 主なプロジェクト活動

●大河原:果樹産地の維持・発展に向けた若手果樹生産者を中心としたネットワークの構築(園芸振興)

若手果樹生産者の知識や技術の向上を図りながら、各種講習会を通じて交流を深めることができた。また、これらを通じて、自主的に情報交換等を行うようになり、連携した活動(R6年度共同出店3回)等が行われた。

●亘理:名取市下余田2期地区における農地整備を契機にした地域農業の発展(地域計画・園芸振興)

担い手への集積と集約化に向けて、集落の話し合いを支援し、地域促進計画実現の見通しが立てられた。また、法人設立にむけ意欲的になった他、30代の担い手も参加するようになった。高収益作物はえだまめを選定し、栽培技術の習得が図られた。

○仙台:ほ場整備を契機とした営農体制の整備(地域計画・園芸振興)

地域の中心となる法人を核とする地域営農体制に向けて、ほ場環境に適した農地利用が図られるよう関係機関と連携して支援を行った。また、収益性の高い農作物(ねぎ、ピーマン等)の安定生産を支援した。

●大崎:子実用とうもろこしを含む水田農業の輪作技術体系の確立(みどり戦略)

子実用とうもろこしの目標単収(700kg/10a)を達成。乾田直播栽培の栽培技術管理習得支援を行い、3年3作(子実用とうもろこしー大豆ー水稻)の輪作体系技術が確立された。

○美里:土地利用型法人の経営戦略の策定と持続的経営の展開(園芸振興)

農事組合法人に対して経営管理向上支援を行い、習得した経営管理のスキルを活かして、新規品目導入(さつまいも、ねぎ)を含めた事業計画の見直しが行われ、持続的な法人運営が可能となるよう支援を行う。

○栗原:金成有壁地区の活性化ビジョンの実現(地域計画)

ビジョンの実現に向けた取組が展開され、地元の酒造会社と協力してイベントを開催する等、地域の活性化が図られている。地域農業の担い手となる法人はR7年度中に設立できるよう支援を行っている。

●登米:グリーンな栽培体系の実践による持続可能な稲作経営の実現(みどり戦略)

減肥と収量性を両立させるための技術(ペースト肥料の利用、非ブラコーティング肥料の使用等)の検証を行い、収量・品質共に慣行と同程度であった。今後も「グリーンな水稻栽培」を行う面積は増加する見込み。

●石巻:産地を形成する多様な担い手のステップアップによるいちごの産出額向上(園芸振興・アグリテック)

支援対象である各農業法人、新規参入者に対応した技術指導(適期管理や環境制御技術活用)をきめ細かく行い、いちご産地としての共販量・金額が増加した。

●気仙沼:担い手を核とした地域農業の継続・発展(地域計画・アグリテック)

地域農業の将来の在り方について検討がおこなわれ、担い手への農地集積のため、ほ場整備事業取組に対する理解が共有された。また、地域営農発展のため、高収益作物としてえだまめに取り組む事が決定し、引き続き試験栽培を継続する。

●:R6終了課題 ○:継続課題

2 重点活動

(1)新たな担い手の確保・育成及び女性活躍に関する取組※

・農業経営を営もうとする青年等の確保・育成及び女性の活躍に関する取組

(2)「地域計画」に関する取組※

・地域での話し合いや合意形成に向けた取組

(3)農業経営の安定化や経営継承等に関する取組

・地域の担い手となる経営体の経営高度化に向けた取組
・生産者の経営安定化
・GAPIに取り組む経営体の育成・定着

(4)新たな園芸産地育成に関する取組

・地域において生産拡大が想定される品目や新たに取り組む園芸品目に対する生産技術支援
・将来のプロジェクト課題となり得る取組

(5)みどりの食料システム関連に関する取組

・持続的生産体制の構築に向けた省力化・安定化・環境負荷低減推進の取組
(6)地域の実情に合わせた重点的に活動すべき取組
・特色ある米づくりを通じた地域振興に関する取り組み(金のいぶき等)

※は全普及センターで取り組む

3 一般活動

- 水稻の安定生産と省力低コスト稲作の推進
- 土地利用型作物(大豆、麦)の生産性向上
- 野菜、果樹、花きの生産拡大と品質向上
- 畜産の生産性向上と経営安定
- 地域資源を活かしたアグリビジネスの推進
- 野生鳥獣被害防止対策の支援
- 情報発信と生産者の情報活用・発信支援
- 農福連携の取組支援
- 農作業安全の推進
- 展示ほ・実証ほ等の設置運営

反映

第3期みやぎ食と農の県民条例基本計画 R3～R12

革新支援専門員プロジェクト課題

広域的な課題解決、新技術・革新的技術の普及、民間等との連携

- ①現地実証によるアグリテックの体系的な導入支援
- ②土地利用型園芸品目の定着に向けた要因解析による生産性向上

- ①活動内容 ○現地実証「①RTKシステムと大容量トラクターマウントブームの組合せによる水稻乾田直播の効率的な除草剤散布」、「②衛星センシングとRTKシステム、可変施肥技術の組合せによる水稻の生育ムラの解消と収量・品質の向上」 ○導入支援
- ②活動内容 ○地域の栽培状況及び生産体系、貯蔵、販路等の情報整理 ○地域の特徴的な取組と課題整理及び課題解決に向けた支援 ○情報共有のための支援